

令和2年度 事業実績報告書

公1 県民主体の国際交流・協力活動の促進

(1) 国際ふれあい広場 in こうち開催事業

県民の国際交流に対する理解と関心の醸成、活動参画へのきっかけづくりなどを目的として、国際交流に関する総合イベントを開催した。

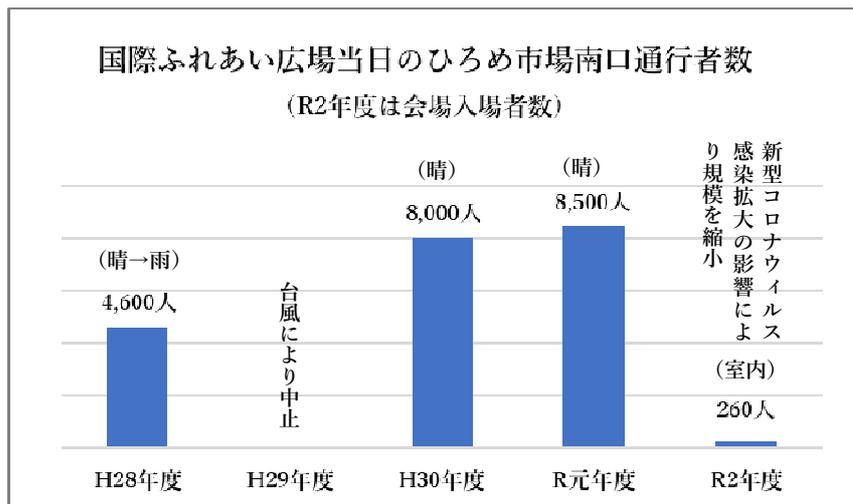
開催日：令和2年10月18日（日）

場所：オーテピア高知図書館

テーマ：高知で多文化を見る・知る・感じる

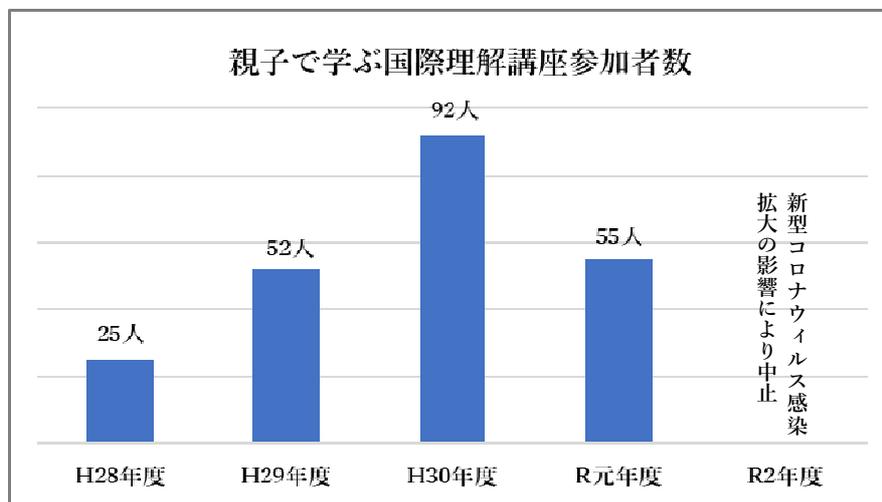
入場者数：260人

内容：参加団体による写真展示・交流・文化体験・相談ブース、外国の民芸品・食品販売、高知県外国人生活相談センターによる出張相談会、SDGs 紹介等、新型コロナウイルス感染防止に留意し、規模を縮小して開催した。



(2) 親子で学ぶ国際理解講座開催事業

新型コロナウイルス感染拡大により中止



(3) 多文化共生(出前)講座開催事業

母国の生活様式や習慣等をテーマに、県国際交流員や留学生等を講師として公開講座を開催したほか、学校に派遣して出前講座を開催し、県民の異文化への理解を深めた。

○多文化共生講座

①開催日：令和2年6月20日(土)

場 所：オンライン (Zoom)

講 師：高知県外国人生活相談センタースタッフ (JICA 海外協力隊員 OG)

受講者：10名

②開催日：令和2年8月23日(日)

場 所：オンライン (Zoom)

講 師：JICA 海外協力隊員 OG、高知大学留学生 (エチオピア出身、ガーナ出身)

受講者：42名

③開催日：令和2年10月18日(日)

場 所：オーテピア高知図書館、オンライン (Zoom)

講 師：高知県海外技術研修員 OG、JICA 日系社会青年ボランティア OB

受講者：29名

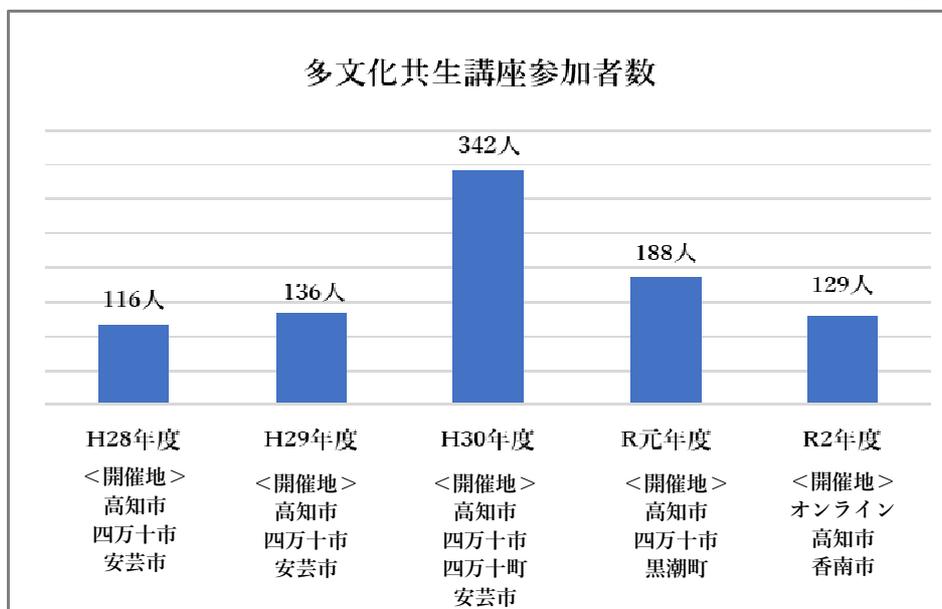
④開催日：令和3年1月31日(日)

場 所：香南市吉川防災コミュニティセンター、オンライン (Zoom)

講 師：JICA 海外協力隊員 OG、香南市在住外国人

受講者：48名

(計 129名)



○多文化共生出前講座

①開催日：令和2年8月28日（金）

場 所：高知北高等学校

講 師：高知大学留学生

受講者：12名

②開催日：令和2年10月30日（木）

場 所：高知南高等学校

講 師：高知県国際交流協会職員

受講者：33名

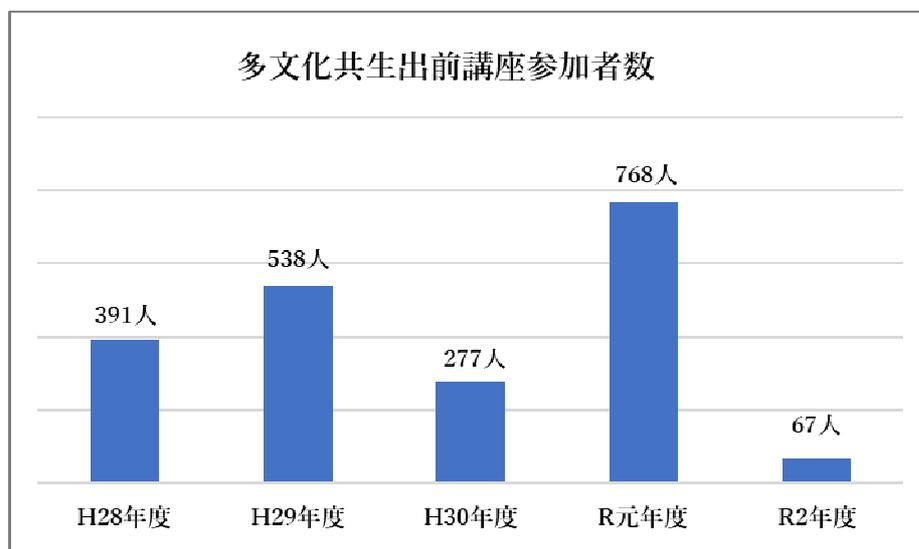
③開催日：令和2年11月19日（木）

場 所：宇佐小学校

講 師：高知市国際交流員、技能実習生、JICA 四国高知デスク国際協力推進員、
高知県国際交流協会職員

受講者：22名

（計 67 名）



（4）国際交流ボランティア活用事業

当協会及び外部からの依頼に応じて、当協会に登録している国際ボランティアを活用または紹介し、県民と外国人との交流機会の増大を図り、また交流を円滑にすることにより県内の国際交流の推進に寄与した。

活用・紹介実績：語学ボランティア 21名（延べ）

（主に新型コロナの県知事メッセージの外国語翻訳）

※ボランティア登録者数（R3.3.31 現在）

ホストファミリー：35名

日本語ボランティア：82名

語学ボランティア：133名

公2 国際交流、協力活動等の情報収集と提供

(1) 協会機関誌 (WINDOW) 発行事業

高知県国際交流協会の活動報告をはじめ、県内の民間国際関係団体の紹介、友好姉妹都市学生等交流事業などを掲載した WINDOW を 2 回発行した。

発行月：令和 2 年 9 月、令和 3 年 3 月

発行部数：各 2,300 部

内 容：A4 版 8 ページ (9 月)、A4 版 16 ページ (3 月)

(2) インターネット情報収集・提供事業

ホームページやメールマガジン、フェイスブックを充実し、県内外の国際交流情報や国際ボランティア活動、民間国際交流団体の情報を広く県民や在住外国人に提供した。

※メルマガ (月 1 回配信) には、267 名が登録。(R3.3.31 現在)

(3) 市町村連携情報提供事業

市町村との共催で開催したイベントにあわせて、パネル展示や資料配布など協会の事業説明・PR 活動を実施した。

①国際ふれあい広場 in こうち

開催日：令和 2 年 10 月 18 日 (日)

場 所：オーテピア高知図書館

公3 民間国際交流・協力団体活動の促進

(1) 民間国際交流・協力団体連絡協議会開催事業

県内の民間国際交流・協力関係団体との情報交換等を通じ、県内国際交流・協力の円滑な推進を図るための会議を隔年で開催しているが、本年度は開催なし。

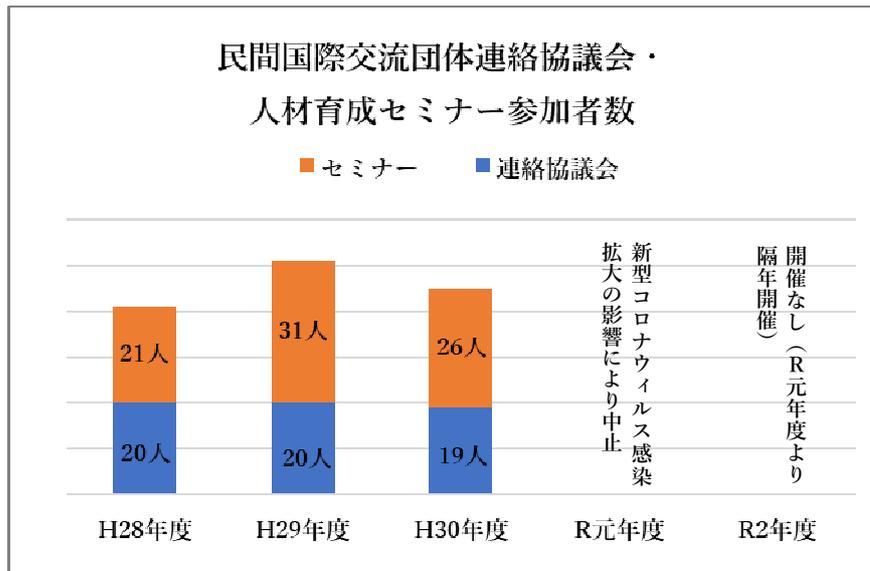
(2) 民間国際交流・協力団体助成事業

草の根民間国際交流、協力支援の一環として、県内の民間国際交流関係団体が実施する国際交流・協力事業等に対して助成を行った。

4 団体 計 465,000 円 (詳細は別表 1 のとおり)

(3) 民間国際交流・協力団体人材育成セミナー事業

県内の民間国際交流関係団体の活動の活性化と、各団体をリードする人材を育成するためのセミナーを隔年で開催しているが、本年度は開催なし。



公4 在住外国人との共生

(1) 日本語講座開催事業

在住外国人を対象に、生活に必要な日本語講座を開催した。

① 日本語講座開催事業

開催期間：令和2年6月1日（月）～令和3年3月29日（月）

開催場所：高知県国際交流協会研修室

受講者：初級Ⅰ 5名 初級Ⅱ 19名 初中級 9名 漢字読み書き 8名

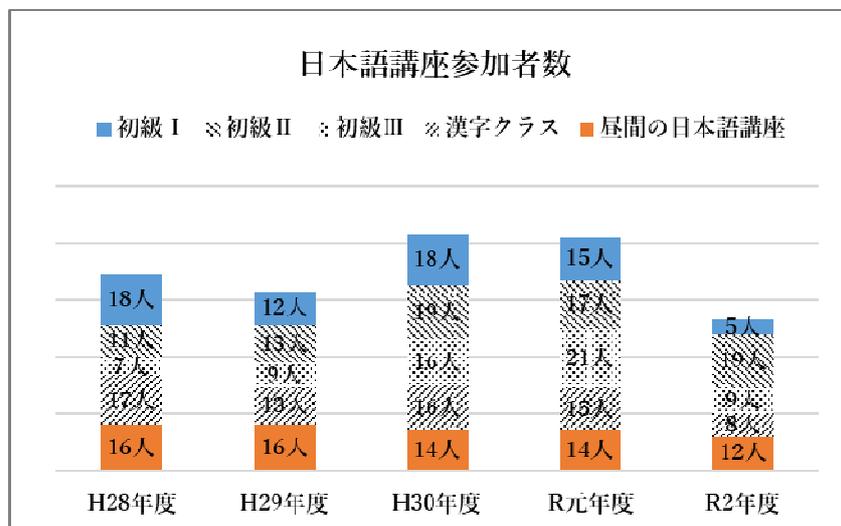
② 昼間の日本語講座

家庭や仕事の事情で夜の日本語教室に参加できない在住外国人のために、昼間の日本語講座を行った。

開催期間：令和2年6月4日（木）～令和3年1月21日（木）

開催場所：高知県国際交流協会研修室

受講者：12名



③オンライン開催及びオンデマンド教材の提供

近隣に日本語教室がない等の県内在住者を対象に、生活や仕事に必要なオンライン講座を3クラス開設した。

開催期間：令和3年3月18日(木)～令和3年3月29日(月)

受講者：クラス①8名 クラス②3名 クラス③3名

また、在住外国人が仕事や生活の場面でよく使われる土佐弁を理解し応答できるようにすることを目的とした動画を2本作成しYouTube等に掲載した。

④新型コロナウイルス感染防止環境整備

集合形式での日本語教室の感染予防対策として、アクリル板の設置や少人数テーブルへの分散ができるよう設備を整えた。

(2) 地域における日本語教室スタートアップ支援事業

①日本語ボランティア養成講座

日本語教室のない地域で教室を立ち上げる準備として人材となるボランティア養成講座(初級)を4日間開催した。

開催日：令和3年1月16日(土)・23日(土)、2月6日(土)・7日(日)

場 所：黒潮町役場大会議室

講 師：高知日本語サロン 尾中 美代子氏 池 純子氏

受講者：15名

※黒潮町主催の日本語教室「くろしおにほんごサロン」が3月から運営開始

②日本語教室支援

始動して間もない日本語教室の運営を支援するため、検討会へのアドバイザーの派遣や教材の調達支援を行った。

○土佐市

開催日：令和2年7月26日(日)、8月23日(日)、令和3年2月14日(日)

場 所：土佐市立とさし男女共同参画センター

参加者：各 約15名

○須崎市

開催日：令和2年12月12日(日)(オンライン)、令和3年3月6日(日)

場 所：須崎市立多ノ郷公民館

参加者：各 約15名

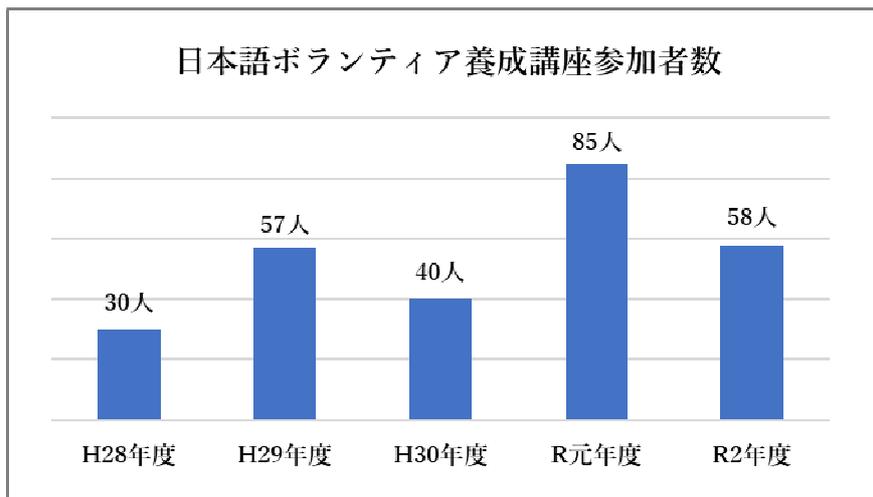
○黒潮町

開催日：令和3年2月7日(日)、3月21日(日)

場 所：黒潮町役場大会議室

参加者：各 約15名

(3) 日本語ボランティア養成講座開催事業



①日本語ボランティア フォローアップ研修

開催日：令和2年12月19日(日)

場 所：高知県人権啓発センターホール

講 師：尾崎 裕子氏（独立行政法人国際交流基金ニューデリー日本文化センター）

テーマ：世界の日本語教育の現場から

参加者：36名（オンライン併用）

②日本語ボランティア スキルアップ研修

開催日：令和3年3月7日(日)

場 所：高知県人権啓発センターホール

講 師：伊藤 美智代氏（ひまわり21、ワールドキッズネットワーク）

テーマ：日本語学習者の地域デビューを促す活動づくり

参加者：22名

(4) 在住外国人のための生活情報冊子の発行・ブログ発信事業

県内在住外国人が安心して快適に暮らせるように、高知の文化、歴史、生活等に関する情報を提供するため、生活情報誌「Tosa Wave」（英語及び中国語版、日本語ルビ付き）を半年に1回発行、またブログ（英語版）を発信した。

①生活情報冊子

発行部数：各号1,000部

主な配布先：各市町村外国人登録担当窓口、英会話学校、教会、県内国際交流協会、県内各大学、技能実習生受入機関、ゲストハウス等

②ブログ 更新回数：16回

(5) 在住外国人への防災・災害情報提供事業

県内在住の外国人が南海トラフ地震等の被害に遭わないため、また、その被害をできるだけ少なくするための取り組みを行った。

①語学サポーター活動の円滑化と、万一来備えてボランティア活動保険に加入

加入者数：24名

②日本語教室内（高知市）での防災学習会の実施

内容：防災食づくり、ハザードマップ確認 等

③災害時の外国人支援セミナーの開催

自治体職員やボランティア等を対象に災害時における外国人支援の現状や必要性、課題等について学ぶセミナーを開催した。

開催日：令和3年2月11日（木祝）

場 所：オーテピア高知図書館

講 師：田村 太郎（NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会）

テーマ：過去の災害から学ぶ外国人支援の現状と課題

参加者：45人

④南海トラフ地震啓発パンフレットや携帯カードの配布。

⑤高知県災害時多言語支援センターの開設・運営に係る協定を県と締結。

（6）語学ボランティアを対象とした通訳・翻訳講座開催事業

語学ボランティア（災害時語学サポーター）登録者を対象に災害時の外国人支援を想定した情報発信としてやさしい日本語への書き換えや外国語翻訳訓練を行った。

開催日：令和3年2月11日（木祝）

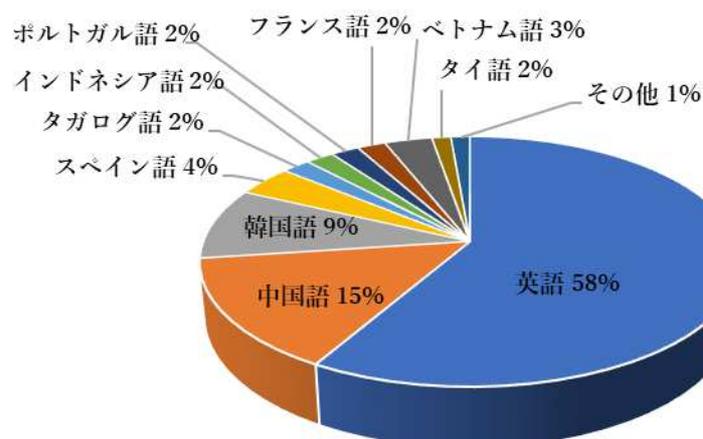
場 所：オーテピア高知図書館ホール

講 師：菊池 哲佳（NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会）

テーマ：災害時に活動する通訳・翻訳ボランティア研修

参加者：41名(オンライン併用)

語学ボランティア登録者割合



(7) やさしい日本語普及事業

やさしい日本語を普及するためのチラシを作成し、研修会やイベント等で配布した。また、やさしい日本語への理解を深めるとともに、書き換えや言い替え演習、県内企業のやさしい日本語による情報発信の取組発表を行うセミナーを開催した。

開催日：①令和3年1月24日(日) ②令和3年1月25日(月)

場 所：高知城博物館ホール

講 師：土井 佳彦(多文化共生リソースセンター東海)

村瀬 佐保(高知新聞社 編集局)

テーマ：使ってみよう!『やさしい日本語』

参加者：①43人 ②34人

(8) 在住外国人の生活相談事業(高知県からの受託事業)

「高知県外国人生活相談センター」が、外国人からの相談に加えて、外国人とかかわりのある事業者等からも外国人が関係する相談を受け付けて対応を行った。

① 相談件数

総件数 493 件(内訳：外国人 290 件、事業者等 203 件)

② サポーター募集

相談者である外国人に寄り添って行うサポートのほか、相談会の運営、通訳・翻訳などのセンター活動に協力していただけるサポーターの募集を令和2年6月から開始。令和3年3月末時点で74名が登録。

③ 相談会の実施

- ・ 高松出入国在留管理局の統括審査官による「在留資格に関する相談会」を四万十市(9/16)と南国市(12/10)で開催。
- ・ 高知弁護士会および法テラス高知の協力を得て、弁護士による「外国人のための法律相談会」を高知市(3/13)で開催。
- ・ その他、高知行政監視行政相談センター主催の一日合同行政相談所ならびに国際ふれあい広場2020にて相談ブースを設置して外国人からの相談に対応。

④ 広報・PR活動

ホームページ、インスタグラム、リーフレット及び携帯カードの配布、各種交流イベント等でのPR活動、自治体広報誌への掲載等を通じ、幅広く広報活動を行った。また、センターの愛称を令和3年3月から4月末まで広く募集、愛称の決定は6月末を予定。

⑤ 運営協議会の開催

センターからの相談状況報告、各機関からは提言等による情報共有と共に、課題ならびに今後の取り組みについての協議を7/17と2/17に実施した。

(詳細は別表2のとおり)

公5 友好姉妹都市交流の推進

(1) 高知県友好姉妹都市交流推進助成事業

高知県と友好姉妹提携関係にあるフィリピン・ベンゲット州、中国安徽省との民間レベルでの交流を促進した。(詳細は別表3のとおり)

(2) 友好姉妹都市学生等交流推進事業

新型コロナウイルス感染拡大により中止。

公6 海外県人会活動の支援

(1) 海外県人会(中南米)活動支援事業

ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンの各県人会の運営や会員相互の親睦を図るための交流事業等について、各県人会活動を支援した。

| 県人会名 | 会員数 (R2.11 現在) | 会長名 | 補助金額(円) |
|-----------|-------------------|----------|---------|
| ブラジル県人会 | 240名 | 片山 アルナルド | 323,000 |
| パラグアイ県人会 | 658名 | 渡辺 土佐男 | 282,150 |
| アルゼンチン県人会 | 199名 | 飯崎 誘造 | 201,400 |
| 合計 | | | 806,550 |

※会員数は各県人会から県に報告があった人数

公7 海外技術協力の推進(高知県からの受託事業)

(1) 高知県海外技術研修員受入事業

新型コロナウイルス感染拡大により中止

(2) 高知県協力交流研修員受入事業

新型コロナウイルス感染拡大により中止